



## 中国共産党第19回全国代表大会

10月18日～10月24日の一週間、北京の人民大会堂大ホールで、中国共産党第19回全国代表大会が行われました。習近平総書記は、開幕の挨拶で次のようなことに言及しました。

### 1. 中国の社会主義は新たな時代へ

中国は独自の社会主義のもとで発展を遂げ、発展途上国が近代化を目指すための、新しい道を示しました。中国の知恵は世界と人類に対して貢献しました。

### 2. 中国社会における矛盾の変化

中国の特色ある社会主義は新しい時代へ入り、現在の主な矛盾は、日に日に豊かになっていく人々の生活に対して発展が不十分であり、ニーズが満たされていないことです。

### 3. 新時代における中国の社会主義思想

中国の社会主義思想の全体目標は「五位一体」で、戦略目標は「4つの全面」です。「五位一体」は、経済・政治・文化の「三位一体」に、社会建設・生態文明の2つを加えたものです。「4つの全面」は、小康社会の全面的実現・全面的な改革深化・全面的な法治

推進・全面的な厳しい党治のことです。これらの特色のある社会主義を堅持し、発展させることが重要な課題です。

### 4. 社会主義近代化強国

中国内外の情勢を踏まえると、2020年から今世紀半ばまでは2段階に分けられます。第1段階は2020年から2035年までの15年間で、小康社会の全面的完成を基礎に、更なる奮闘によって社会主義近代化を実現します。

そして社会主義近代化を基礎に、第2段階である今世紀半ばまでに、中国を富強・民主・文明・調和ある美しい社会主義近代強国へと発展させます。

習近平総書記は以上のようなお話をされたのですが、本当はもっと長く、中国共産党員の使命は中国人民の幸せと中華民族の復興を追求することだというお話や、中国がどれほど発展したとしても覇権や拡張は求めないというお話など、協調や平和を前面に出した内容も含まれていました。今後の日中関係に注目していきましょう。

唐 啓山

## 月例会報告

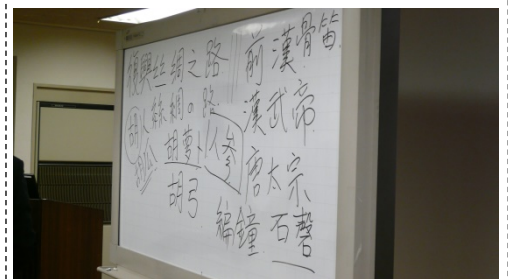
11月7日の例会は、唐啓山さんによる「シルクロードと新疆」というテーマの講演を行いました。お話の一部をご紹介します。

新疆ウイグル自治区は中国最大の省と言えます。面積は165万km<sup>2</sup>あり、中国国土の約6分の1を占め、日本の4.5倍ほどの大きさです。中国の西北の端にあり、シルクロードを通じて東西の文化が交わる魅力的なところです。

シルクロードの起源は前漢時代に遡ります。そして生活用品や食品、楽器など、様々なものが西から伝わってきました。中国の代表的な食べ物である、餃子や肉まん生地も、元々は西から伝来したものです。また、中国の伝統的な楽器は主に打楽器でした。琵琶などの弦楽器も、シルクロードを通じて伝来したもののようです。他にも、胡瓜や胡弓など「胡」の漢字が付くものは、西から伝わったことを表しています。

物だけでなく、仏教などの宗教や仏像も伝来しました。仏像は西から東へと伝わっていく過程で、西洋風の顔から段々と中国人のような顔になっていったことが見て取れます。

異文化に触れるのは面白いもので、最初は好きになれなくても、慣れていくうちに好きになってしまうことが多々あります。私が初めて新疆に行ったのは大学四年生のときでしたが、最初は外国のような感覚だったのが、何回も行くうちに好きになってしまいました。食べられなかった羊肉も美味しいと感じるようになりました。皆さんも是非、新疆へ行って、色々な文化を好きになってきてください。



今回は漢字も多く勉強しました



懐かしい写真を見ながら

## 実家の辣椒酱

実家のある全州県には辣椒酱 (làjiāojiàng) というものがあります。これは、干した唐辛子を細かく砕き、醤油に漬けたものです。食料が少なかった昔の冬の時期でも、辣椒酱とお米があれば元気が出たそうで、実家の人たちは本当にこの辣椒酱が大好きです。とにかく、どんな料理にでも辣椒酱を使うので、実家の料理は辛いものばかりでした。兄夫婦が訪れたときも、辛い料理に苦戦していたものです。

しかし、本当に驚いたのは、結婚式が終わった後で実家に顔を出したときです。イベント前の緊張も解け、家族だけで過ごす緩んだ空気が流れていました。いつもは調理に使うだけだった辣椒酱が、その日は食卓にありました。辛さの調整でもするのかと思いきや、彼らは辣椒酱を各自のお碗に入れ、鍋の料理を浸しながら食べ始めたのです。使い方はポン酢と同じなのですが、中身が違い過ぎます。スープに一つまみ入れ

るだけで大変な思いをする自分にとって、このときに受けたショックは非常に大きなものでした。実はそれまでしっかり手加減されていたのです。

彼らが辛いものを好むのは、私たちが「料理は温かい方が美味しい」という程度の感覚なのかもしれません。正直、なんでわざわざ辛くするんだろう、と不思議に思うこともあったのですが、今ではすっかり脱帽しています。

## 成語故事コーナー

línzhèn móqiāng

### 临阵磨枪 (臨陣磨槍)

昔、とても強い将軍が居ました。彼は軍を率いて数多くの戦いに勝利してきました。そして、戦争が終わり、皇帝からたくさんの褒美を貰いました。文官も武官も将軍を尊敬し、会うたびに彼の功績を称えていました。

そうしているうちに、段々と将軍は増長し、毎日遊び始め、軍隊の訓練を怠り、自分自身も鍛錬せずに怠

そのときになって、急に何かを準備し始めるという意味の言葉です。耳が痛いです。日本語では「一夜漬け」や「泥棒を捕らえて縄をなう」

けるようになってしまいました。いつしか将軍は肥満体質になってしまったのです。友人たちはその様子を見てしきりに忠告するのですが、将軍は過去の功績を自慢するだけで、まったく聞く耳を持ちません。

二年後、敵軍が攻めてきました。皇帝は将軍に迎撃を命じます。将軍は急いで自分の武具を探します。しかし、剣は錆び、槍は腐り、鎧はサ

といった言葉が思い浮かびます。似たような意味の中国語に临时抱佛脚 (línshí bào fó jiǎo) という言葉があるそうです。その時だけ仏

イズが合いません。将軍は慌てて剣を研ぎ、槍を直し、鎧のサイズを合わせます。なんと醜態でしょうか。そんなことをしているうちに、敵軍は城を攻め落とし、将軍も捕らえられてしまいました。



の足にすぎる、と読めます。まさに日本語で言う「苦しいときの神頼み」。このようなことわざは、どの国にもあるのかもしれませんが。

## 漢方教室 83 濃縮植物酵素サプリ

### 【酵素とは】

酵素は、生命活動をしている物には必ずある物質で、ほぼ「タンパク質」からできています。酵素は食べ物の消化を始め、皮膚の新陳代謝、血液の循環など体のあらゆる働きに関わっています。酵素が不足すると、すぐに体調に現れます。やる気が起きない、消化不良、肌の不調なども酵素不足が原因の可能性がります。健康的で若々しい生活のためにも、酵素は重要な鍵を握っています。

### 【発酵食品のチカラ】

日本は昔から「味噌」「醤油」「漬物」「鰹節」「納豆」など、様々な発

酵食品を生活に取り入れてきました。それは栄養素を補給するだけではなく、体内の酵素の活性にも大きく役立っていたのです。ところが今では、伝統的な発酵食品を食べる方が少なくなっています。体内酵素はどんどん少なくなっていると言われてます。

### 【酵素は消耗品】

私達は酵素を体内で作っていますが、それには限りがあります。体内酵素は年齢とともに減少し、高齢者の体内酵素は若者に比べて、実に



48%も減少することがわかっています。また、酵素は使うとなくなる消耗品です。酵素の無駄遣いをしないことが、健康長寿の秘訣です。

日本安恵濃縮植物酵素は、超高濃度・無臭で、162種類以上野菜・果物・海藻類等を3年間発酵熟成した非加熱、活性酵素です。添加剤、保存料など一切不使用で安心です。興味のある方は、フリーダイヤル 0120-045-539 中統ビル3階 日本安恵株式会社





中国からの引き揚げ—思い出すがままに⑥

終戦の年が明け、昭和21年になっても、在留日本人が待ち望んでいる内地への引揚げは、なかなか始まりません。一月のなかごろの深夜、大変な事件が起こります。私はたまたま起きていて、父が引揚げの時に使うリュックサックを作っている様子を2階に上がる階段に腰掛けて見ていました。ちょうどその時、一発の銃声が街に響きわたりました。これが、同胞に多くの犠牲を出すことになった「五番通事件」の始まりだったのです。

当時、国共内戦が激しさを増し、情報戦もさかんで、丹東を支配下に置いていた解放軍は、戦況不利の中、警戒を強めていました。

市内の日本人街五番通の豆腐屋の二階に間借りして解放軍の動静をスパイしていた疎開者、元日本軍人、国府系中国人などが、解放軍の巡察隊と衝突、指揮者の巡察隊将校を射殺して逃走してしまいます。解放軍は、五番通りの町内一千世帯五千人の日本人を連帯責任ということで、老幼の区別なく零下十数度の厳冬の夜、市内の公会堂へ隔離します。事件現場付近の者はさらに、郊外の競馬場へ連行されます。三日三晩留置され、ようやく解放されますが、全員が凍傷にかかり、女性、子どもの何人かは死んでしまいました。

この町内に、叔父夫婦、いとこが住んでいたもので、私にとっては、引揚げ前の忘れられない思い出です。

杉本 克治

11月誕生日の人の言葉

私は日中文化協会の太極拳教室に通い始めたのがきっかけで、活動に参加するようになりました。当時は上山卓司さんも一緒に、上山伸治理事長はまだ学生でした。もう十数年になりますが、楽しく参加させてもらっています。

会員 杉浦

絵画展『耕煙』  
線智・杉山博の二人展の報告

10/28(土)～11/5(日)に、当協会会員・杉山博さんと、恩師である瀋陽魯迅美術学院副教授・線智先生による展覧会が盛況に行われました。

会員さんや杉山さんの関係者の方々が連日お越しになり、絵画（澆墨法）の技法について杉山さんから熱心に説明を受けていました。今後また是非、定例会などでも皆様にご紹介させていただく機会があればと考えております。



杉山氏（右から二人目）

日中文化協会は大切な場

「床の間の琴」は古い回文。女の子が生まれると庭に桐を植え、その桐の木で琴を作り、お稽古をして、お嫁入りに持っていく。尾張七代徳川藩主宗春の影響で、名古屋はお稽古事の盛んな土地柄である。

第32回国民文化祭「邦楽の祭典」が去る10月29日奈良文化会館国際ホールで開かれ、秋田県、香川県など全国から27の三曲協会団体が集まり一曲10分以内の制限で進行した。名古屋三曲連盟も舞台に上がった。この連盟は愛知県にある三曲、箏・三弦・尺八の13団体が集まった連盟である。私も都山流尺八楽会から代表として2名で

参加。

（公財）都山流尺八楽会愛知支部だけでも現在245名の会員で毎年定期演奏会を開いている。

琴古流、竹保流、西園流、照明流など尺八団体の発表会、流派を問わない東海尺八連盟などの集まり、伝統的和楽器で作る新しい音楽団体、虚無僧尺八の団体など様々な演奏会の数が多い。金山の文化会館借用予約の抽選が大変である。

長唄、清元、常磐津、などの名古屋邦楽協会、民謡、太鼓、詩吟、などの各流派団体、能楽や日本舞踊、など名古屋の伝統的芸能分野

は広い。しかし、今、愛好者はどこも減っている。

書道、美術、などの芸術活動に限らず、趣味への関心など日中文化協会会員の文化的活動は広くて深い。中国文化との接触場面の機会を求めている会員は多い。協会が中心。取りあえず、「李白や杜甫」などの漢詩を日本の詩吟の節付けで吟じ、中国語の発音で歌ったら、きっと新しい日中文化が生まれると思う。

杉原 直

## お知らせ

### ★12月例会

12月の月例会は恒例の忘望年会です。

### ★JCCA 中国語サロン

日時：12月2日（土）16日（土）14：30～

### ★日本語広場

日時：12月12日（火）14：30～

### ★1月例会

1月の月例会はお正月につきお休みです。

### ★第12回 名古屋中国春節祭

日時：2018年1月6日（土）～ 8日（月・祝）

### ★2月例会

2月の月例会は春節祝賀会です。

### 理事会報告

11月7日、日中文化協会の理事会が開催され、今後の運営方針や役割について話し合いが行われました。そして、これまで中々開催できなかった旅行ですが、その重要性を再認識し、来年の春に開催することを決定しました。詳細は運営委員会にて策定されます。

また、会場の都合もあり、日本語弁論大会の来年5月開催は見送られることになりました。今後に関しましては、新しい会場や日程が決まり次第お伝え致します。

### 第12回 名古屋中国春節祭

今回も、日中文化協会はブースを出します。**みんなで一緒に楽しみましょう！**

販売品の値付けやイベントの提案、当日の当番等、ご参加・ご協力いただける方は、事務局までご連絡ください。

小物、衣類、書籍等の新品又は新品に近い不要品で、重過ぎないもの、大き過ぎないものを、**バザーの品物としてご提供ください！**皆さまのご協力をお待ちしております。



### 遣中使レポート

2017年7月25日～31の間に上山奨学財団から派遣された、第22次平成の遣中使たちのレポートが完成しました。初めて訪れる中国と、現地の学生たちとの交流で刺激を受ける遣中使たちの様子が記録されています。レポートは小冊子として日中文化協会の事務局にも保管されています。興味のある方は是非ご連絡ください。



### 忘望年会

日時：12月5日（火）18：00～

場所：中国料理 きのご鍋専門店「四季茸」

名古屋市中区栄3-12-6

インペリアルプラザB1

（栄駅16番出口から徒歩7分、

矢場町駅から徒歩5分）

参加費：5,000円（留学生1,000円）

今回の会場は、初となるキノコ鍋専門店「四季茸」です。延辺館の姉妹店でもあります。お間違えのないよう、場所のご確認をお願い致します。

参加希望の方は、ハガキの返信または電話にてご連絡いただければ幸いです。

### 編集局

編集局では現在、携帯電話番号、生年月日、E-Mailアドレスのご登録を推奨しています。イベントのご案内、「誕生日の人の言葉」の掲載、WEBサイト更新の通知などに使用致します。china@chuto.co.jp宛にご送付ください。ニューズレターは、WEBサイトにてカラー版を公開しています。郵送不要の方は「郵送不要」とご連絡ください。



〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-29 中統奨学館

TEL：052-262-1410 FAX：052-262-5036

一般社団法人日中文化協会

編集長 上山耕治